

府立人研をどうぞよろしくお願いいたします。

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第2号
2018年5月25日発行

こんにちは。府立人研事務局です。

「府立人研通信」第2号では、春季研修会及び総会のご報告をさせていただきます。

今回も多くの教職員の方々にお越しいただき、本当にありがとうございました。

過ごしやすい季節とはいえ、お身体には十分お気をつけください。

またのお越しをお待ちしております。

春季研修会 及び 総会

「生きる力」を育む「学び」の創造 ～^{いま}現実を見つめ、^{あす}未来を紡ごう～

5月11日（金）、2018年度春季研修会及び総会を府立市岡高校にて開催した。多くの参加者を迎え、2018年度の新役員案や予算案など審議され、議案は全て承認された。



—平野新会長の挨拶—

今年度、府立人研は創立51年目に突入する。総会では半世紀にわたって培われた研究と実践の「成果」と「魂」を引き継ぎ、「差別の現実から深く学ぶ」という人権教育の原点に立ち返り、府立人研のさらなる発展と前進をめざすことが今年度の研究交流方針として確認された。また、重点項目として①未来につながる生きる力をどうつけるか、②多様な人の「違い」を互いに認め合うインクルーシブ教育をどう実現させるか、③貧困の連鎖を断ち切るために長

期的な視点を持った進路保障をどのように行うか、④人権教育を担う人材育成をどのように進めるかの4点が掲げられた。

春季研修会では、「人権教育の推進について」というテーマで、府立東住吉高校と府立東淀川支援学校より実践報告が行われた。



—府立東住吉高校の報告—

府立東住吉高校からは、「生徒が人権について考える機会をもっともちたい」という思いから、3年間を見通した人権マップの策定、人権学習行事の企画、総合的な学習の時間の活用についてのプロジェクトチームを立ち上げたことなど、人権教育を再構築する実践と今後の展望が報告された。



— 府立東淀川支援学校の報告 —

府立東淀川支援学校からは、「障がいがあってもなくても、違いを認め合い堂々とこの社会で生きていけるように」というインクルーシブ社会の実現に向

けた実践として、地域で盛んな和太鼓の活動を通じて周辺の小・中・高校間と交流を図る活動の報告であった。回数を重ねるごとに、児童生徒たちが積極的に活動に取り組めるようになってきたこと、障がいがない人に対する障がい者理解の推進が図られていることなどが報告された。

両校とも、今年度の研究交流方針を見事に具現化した優れた実践報告であり、事後のアンケートにおいても、「参考になった」、「もっと具体的に聞きたい」という前向きな声が多数寄せられた。今後も、優れた実践が多くの学校で共有され、各校での人権教育が推進されるよう本研究会も取り組んでいきたい。



第1回 研究部会のお知らせ



6月1日（金）午後2時より 柴島高校にて開催

阪急京都線「崇禅寺」駅より南西 約300m

阪急千里線「柴島」駅より西 約300m

教材	進路保障	ケーススタディ
生徒たちの居場所をつくる ～「NPO 法人との協働」と 「児童生徒の自己肯定感を育む 支援学校の取り組み」～	進路保障のあり方 ～就職、労働現場に 見る今日的課題～	生徒へのアプローチ ～「WISC-IV」の可能性～
報告 認定NPO 法人DXP（ディーピー） 府立今宮工科高校（定） 府立守口支援学校	報告 大阪府商工労働部雇用促進室労政課 OSAKA しごとフィールド	報告 府立高槻支援学校

「府立人研だより 第4号」とともに、各校に派遣出席依頼を送付しております。
申込み不要です。ぜひいらしてくださいね。お待ちしております。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号府立柴島高等学校内
※送付には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）
※お問い合わせはできる限りEメールをご利用ください。
お電話の場合は、火曜日をお願いします。

E-mail furitsujinken@nifty.com
ホームページ <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

* 「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです*